

子どもと人権

子どもと

向き合ってみませんか

おとなたちの間には、子どもにも「権利」を教えることは「わがままを助長する」「自己中心になる」などという意見が根強くあります。けれどもそれは、権利・人権が、人間として価値や尊厳を持つて生きていく上で不可欠なものであるということ、あるいは自分の権利を自覚することが他人の権利を尊重することにもつながるということなどを見落としているからではないでしょうか。

なによりも、子どもたちが自分たちの「権利」に気づく機会をつくることが重要であり、自分の意見や行動が「わがまま」なのか、「権利の主張・行使」なのかを見極めて判断する力が、子どもに、そしておとなに必要といえるでしょう。

子どもにかかわる問題を解決していくためには、

いまの子どもと向き合ってみませんか。

※子どもの権利条約

この条約は、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの子ども（18歳未満）の権利を守ることを定めています。そして、子どもにとって一番良いことは何かということを考えなければならぬと明確に表現されています。日本も1994（平成6）年にこの条約に同意しました。

引用・参考

公益財団法人  
人権教育啓発センター  
『人権について知りましょう』より



市人権推進課(教育庁舎1階)  
☎ 32・2122  
FAX 33・3525  
Mail: jinkensuishin@city.komatsushima.tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇(31) 松並敦子・選

今年また燕は古巣を間違えず帰って来たよとメッセージ届く

榎渕町 松下 玉枝

《評》いま、番のゴウノトリが鳴門で巣作りをしていることを知り、よくぞ鳴門を選んで来てくれたと感謝し、応援したい気持ちになる。松下さんも「元気でここを我が家と思って帰って来てくれてありがとう」と毎年帰って来る燕の長旅をねぎらい、言葉交わしたに違いない。燕からどんなメッセージが届いたのか聞いてみたいかなような歌。

勤続は四十一年もう今朝はゴールインです春光のなか

横須町 山崎 泰子

カレンダーめくれば三月古都の春興聖寺の参道山吹の波

横須町 三宅 敏恵

水やりは吾の役割ハウス苗見事に育ちて田植待ちおり

赤石町 田原トシ子

去年と同じ桜の下で撮る写真OB会のメンバーは変わる

田浦町 太田カツミ

友人がイメチェン決めた日曜日また減少す眼鏡人口

立江町 大西 和美

集いたる顔なじみとの松寿会総会報告なごみの食事

神田瀬町 大西カラル

まだ少し余力残れるわが体自然治癒をと今朝もりハビリ

横須町 柿本美知子

たんぼぼの食み出しそなた葉書来る孫の丸文字「ばあちゃん元氣？」

横須町 福島 夢栄

車椅子のわが影われよりよく動く壁に立ったりドブへ落ちたり

ひのみね総合療育センター 関 政明